



# グローバル3資産ファンド(愛称:ワンプレートランチ)

追加型証券投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

## 基準価額および純資産総額

		前月比
基準価額(円)	9,062	62
純資産総額(百万円)	323,279	759

基準価額は10000口当たりの金額です。

## 騰落率(税引前分配金込)(%)

	基準日	ファンド
1ヶ月	H20.4.30	1.1
3ヶ月	H20.2.29	1.9
6ヶ月	H19.11.30	-6.3
1年	H19.5.31	-13.1
3年		
設定来	H17.9.30	21.0

騰落率は、税引前分配金込基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。

税引前分配金込基準価額は、信託報酬控除後の基準価額に支払済み収益分配金(税引前)を加算して算出しています。

## 基準価額の推移(円)

ファンド設定日 H17.9.30



基準価額は、信託報酬(年率1.47%(税抜き1.400%))控除後です。

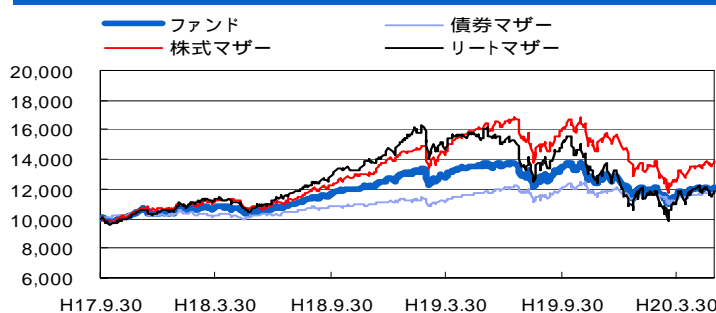
上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

各項目の比率は、注記がある場合を除き全て当ファンドの純資産を100%として計算した値です。各資産にはそれに準ずる投資証券等が含まれることがあります。

## 資産構成(%)

		前月比
債券マザー	33.0	0.6
株式マザー	33.5	0.6
リートマザー	32.5	-1.3
現金等	1.0	0.1
合計	100.0	0.0

## 税引前分配金込基準価額の推移(当ファンド設定日を10000として指数化)



## 通貨構成(%)

1 オーストラリアドル	24.8
2 アメリカドル	24.1
3 ユーロ	15.8
4 イギリスポンド	13.1
5 ノルウェークローネ	7.6
その他	14.7
合計	100.0

現物債券・株式・リート評価額対比

## 最近の分配実績(税引前)(円)

期	決算日	分配金	分配金
第1~27期累計		875	1,990
第28期	H20.1.21	35	0
第29期	H20.2.20	35	0
第30期	H20.3.21	35	0
第31期	H20.4.21	35	0
第32期	H20.5.20	35	0
設定来累計		1,050	1,990

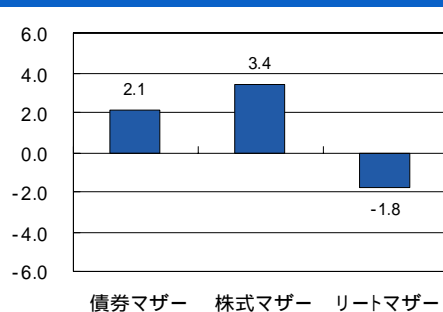
分配金は10000口当たりの金額です。

上記は過去の実績であり、将来の分配をお約束するものではありません。

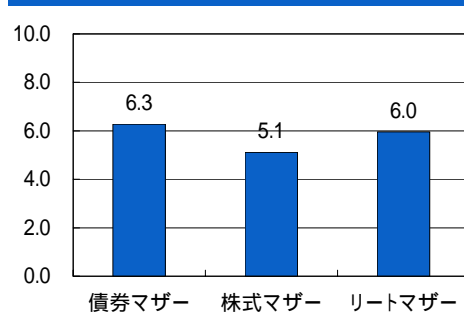
分配金は、配当等収益を中心にした分配金です。

分配金は、売買益等を中心にした分配金です。

## 各投資信託の騰落率(月間)(%)



## 各投資信託の参考利回り(%)



各マザーファンドの利回りは、債券は直接利回り、株式、リートはそれぞれの組入れ銘柄の過去一年間の配当金を作成基準日の価格で除して算出したものです。各利回りは現金を含む純資産総額対比で算出しています。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド(愛称:ワンプレートランチ)

追加型証券投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

## 基準価額の変動要因(月間)(円)

全体	計	(配当等収益)	(売買益等)
債券	-19	(15)	(-34)
株式	44	(30)	(14)
リート	-123	(10)	(-133)
通貨	208	-	-
分配金	-35	-	-
信託報酬等	-12	-	-
合計	62	(55)	(-154)

### 債券要因

	寄与額
上位3ヶ国・地域	
カナダ	0
オーストラリア	0
ユーロ	-4
下位3ヶ国・地域	
イギリス	-7
ノルウェー	-5
アメリカ	-4
その他	0
合計	-19

### 株式要因

	寄与額
上位3ヶ国・地域	
ドイツ	9
アメリカ	8
オーストラリア	7
下位3ヶ国・地域	
シンガポール	-5
イギリス	-1
ニュージーランド	0
その他	27
合計	44

### リート要因

	寄与額
上位3ヶ国・地域	
シンガポール	4
カナダ	2
オランダ	-5
下位3ヶ国・地域	
オーストラリア	-76
アメリカ	-22
イギリス	-21
その他	-6
合計	-123

### 通貨要因

	寄与額
上位3通貨	
オーストラリアドル	89
アメリカドル	32
カナダドル	23
下位3通貨	
デンマーククローネ	0
スウェーデンクローナ	1
ニュージーランドドル	2
その他	61
合計	208

上記数値は、簡便法により月間の基準価額の変動額を主な要因に分解したもので概算値です。  
債券、株式、リートの要因は組入銘柄の配当等収益、および売買益等の合計額です。  
信託財産留保額は信託報酬等に含まれます。

## ファンドマネージャーコメント(全体)

当ファンドは、債券・株式・リート(不動産投資信託)の3つのマザーファンドへ分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の安定した成長を目指します。各資産に1:1:1の等比率で投資することを基本にしており、5月を通じて基本方針に沿った運用を行いました。

5月末の基準価額は9,062円と、前月末の9,000円から上昇しました(分配金35円を勘案すると、97円の上昇)。リート、債券市場変動は基準価額にマイナスに寄与しましたが、株式市場が堅調で、為替市場でも豪ドル円中心に円安が進んだため、基準価額は押し上げられました。

5月は、米国雇用統計で失業率が予想外の低下を示したことや、非農業部門雇用者数が予想ほど減少しなかったこと、また、信用不安に対応した米連邦準備理事会による追加的な方策に対する安心感などから株式市場が上昇、為替市場でもFOMC会合で利下げの一旦の打ち止めが示唆されたことによりドルが堅調に推移しました。他方、クレジットオリティーの悪化は継続しているとの懸念からリート市場が下落するとともに、インフレ懸念から債券市場も下落し、月末には10年米国債の利回りが4.0%を上回る水準まで上昇(価格は下落)しました。

月半ばには、原油価格が連日史上最高値を更新したことを受けて、インフレや消費減退への懸念から株式市場が下落する場面も見られましたが、その後月末に掛けて耐久財受注等のマクロ指標が概ね安心感を誘うものであったことから、株式市場の下落は一時的なものに留まりました。

6月は、米国の大手投資銀行による2-5月期の四半期業績が発表されることから、その損益状況や資本の充足度合いに対する警戒感が煽ぶり、グローバルに株式やリート市場は上値の重い展開となる可能性が高いと見ています。

このような環境下、株式・リートのマザーファンドでの投資においては、「業績見通しが良好で株価が割安な銘柄」や、「経営陣や財務体質の質の高い銘柄」を中心に分散投資を行う方針です。また、ベビーファンドでは、今後も当初の運用方針を継続し、債券・株式・リート(不動産投資信託)の3つの資産への分散投資を行うことで、配当等収益の確保と信託財産の安定した成長を目指して参ります。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド (愛称: ワンプレートランチ)

追加型証券投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

## 基準価額の変動要因(直近6ヶ月)(円)

要因	H19.12	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5
債券						
配当等収益	16	18	15	15	15	15
売買益等	-23	31	-14	22	-38	-34
小計	-7	49	1	37	-23	-19
株式						
配当等収益	8	3	9	14	17	30
売買益等	-8	-277	-1	-96	66	14
小計	0	-274	7	-82	83	44
リート						
配当等収益	24	8	8	16	12	10
売買益等	-107	-214	9	-23	143	-133
小計	-83	-206	17	-7	155	-123
通貨						
アメリカドル	91	-162	-31	-90	78	32
ユーロ	36	-82	12	-8	35	16
オーストラリアドル	69	-148	109	-166	126	89
イギリスポンド	1	-104	-19	-47	27	23
カナダドル	42	-67	2	-55	26	23
その他	35	-58	16	-36	41	25
小計	274	-621	89	-402	332	208
分配金	-35	-35	-35	-35	-35	-35
信託報酬等	-12	-13	-10	-11	-10	-12
合計	138	-1,100	69	-500	502	62

上記数値は、簡便法により月間の基準価額の変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

債券、株式、リートの要因は組入銘柄の配当等収益、および売買益等の合計額です。

信託財産留保額は信託報酬等に含まれます。

## 為替の推移(直近6ヶ月)(円)

通貨	H19.12	H20.1	H20.2	H20.3	H20.4	H20.5
アメリカドル	114.15	106.40	104.78	100.19	104.14	105.75
ユーロ	166.66	157.84	158.98	158.19	162.15	164.09
オーストラリアドル	100.18	94.41	98.93	91.74	97.05	101.02
イギリスポンド	227.90	211.41	208.30	200.11	205.05	209.07
カナダドル	116.35	106.82	107.19	97.95	102.74	106.89

為替は、三菱東京UFJ銀行が発表する月末最終営業日の仲値(TTM)です。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド: グローバル好利回り債券マザーファンド

追加型証券投資信託/ファンド・オブ・ファンズ

各項目の比率は、注記がある場合を除き全てマザーファンドの純資産を100%として計算した値で、債券評価額には未収利息等が含まれます。

## 騰落率 (%)

	基準日	ファンド
1ヶ月	H20.4.30	2.1
3ヶ月	H20.2.29	1.5
6ヶ月	H19.11.30	0.1
1年	H19.5.31	0.6
3年		
設定来	H17.9.30	17.9

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

## 資産構成 (%)

	前月比
債券	99.0 0.0
先物等	0.0 0.0
現金等	1.0 0.0
合計	100.0 0.0

## セクター種別構成 (%)

国債	66.4
州政府債	16.2
政府保証債	0.0
国際機関債	16.4
社債	0.0
転換社債	0.0

## 基準価額の推移



基準価額については、ファンド設定日を10000とした指数を使用しております。過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## ポートフォリオ概況

残存年数(年)	5.93
直利 (%)	6.27
最終利回り (%)	5.41
クーポン (%)	7.24
修正デュレーション(年)	4.37

## 組入上位5通貨 (%)

1 オーストラリアドル	28.9
2 ノルウェー クロネ	20.5
3 ユーロ	14.7
4 イギリス ボンド	14.7
5 カナダドル	10.4

## 格付構成 (%)

AAA	99.0
AA	0.0
A	0.0
BBB	0.0
BB	0.0
その他	0.0

投資債券に対する主要格付機関の格付に基づき作成しております。

## 組入上位5ヶ国 (%)

1 ノルウェー	20.5
2 国際機関	16.4
3 オーストラリア	16.2
4 イギリス	11.0
5 フランス	10.6

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数 39)

銘柄名	国名	通貨	残存年数(年)	クーポン (%)	比率 (%)
1 ニューサウス・ウェールズ州債	オーストラリア	オーストラリアドル	2.5	7	7.4
2 ノルウェー国債	ノルウェー	ノルウェー クロネ	5.0	6.5	6.2
3 ノルウェー国債	ノルウェー	ノルウェー クロネ	3.0	6	5.8
4 アジア開発銀行債	国際機関	オーストラリアドル	3.0	6.25	5.4
5 欧州鉄道金融公社	国際機関	オーストラリアドル	3.2	6.5	4.4
6 フランス国債	フランス	ユーロ	11.4	8.5	4.2
7 フランス国債	フランス	ユーロ	4.6	8.5	4.0
8 アメリカ国債	アメリカ	アメリカドル	6.7	11.25	3.9
9 カナダ国債	カナダ	カナダドル	17.0	9	3.7
10 イギリス国債	イギリス	イギリス ボンド	3.1	9	3.7

## ファンドマネージャーコメント(債券)

5月の市場環境ですが、債券相場は米経済に対する慎重な見方や米金融機関の業績悪化懸念などがやや後退したことや、世界的なインフレ上昇懸念などを背景に、月を通して米国を中心に債券利回りが上昇(債券価格は低下)傾向で推移しました。為替市場では、リスク回避的な動きもやや後退する中で、月を通して主要通貨に対して円が下落する展開となりました。

同月の運用経過ですが、前月に引き続きOECD加盟国の中で相対的に高利回りかつ高格付国の国債や州政府債を中心とした運用を行うとの投資方針を継続しました。特に、オーストラリアをはじめ高格付けで高利回り国については高位組入れを維持しました。同月は、先々の景気や金利水準・為替動向等を勘案し、オーストラリアとノルウェーの組入れ比率を高位に保つ一方、米国についてはこれまでの利下げ実施に伴う利回り水準の低下等もあり、同国の組入れ比率については抑制気味を維持致しました。また、ニュージーランドについては、同国通貨の見通しに関し上値が抑制されやすいと見ていたこともあり、4月に続き同国の組入れはゼロとしました。

今後の見通しですが、米経済や米金融機関に対する慎重な見方が完全に払拭された状況にもないことから、引き続きリスク回避的な市場の動きについては警戒されます。但し、米FRBや米政府による迅速な政策対応等もあり、米国をはじめ主要先進国の景気については深刻な底割れは回避されるものと見ています。また、世界的なインフレ上昇懸念についても債券利回りの上昇圧力として警戒されます。こうした材料等を背景に、中期的には主要先進国の債券利回りについては、材料が拮抗する中で概ね一進一退での相場展開が予想されそうです。為替についてはリスク回避的な動き等を背景とした円買いの動きには警戒されますが、金利差要因や日本からの対外証券投資の根強いフローなどを背景に、中期的にはこれが円安要因として働くものと見込んでいます。今後については、豪ドルなどの相対的に金利水準の高い通貨については、円に対して底堅く推移していくものと見込んでいます。一方で、米国については利回り水準や通貨動向等を踏まえ、同国組入れ比率についてはやや抑制気味での対応を続けて参ります。またニュージーランドドルについては、同国通貨当局が同国通貨売り介入を実施するなどの同国固有の材料などもあり、今後は上値が抑制されやすい展開を予想しています。こうした見通しを背景に、今後の運用方針につきましては、前月同様に相対的に高格付けかつ高利回りである国の債券を中心に組入れを行い(除く、ニュージーランド)、当ファンドの安定した収益の確保をめざすべく、機動的なファンド運営を行います。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド: グローバル好利回り株式マザーファンド

追加型証券投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

各項目の比率は注記がある場合を除き全てマザーファンドの純資産を100%として計算した値です。各資産にはそれに準ずる投資証券等が含まれることがあります。

## 騰落率 (%)

	基準日	ファンド
1ヶ月	H20.4.30	3.4
3ヶ月	H20.2.29	3.0
6ヶ月	H19.11.30	-8.9
1年	H19.5.31	-14.0
3年		
設定来	H17.9.30	38.8

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

## 資産構成 (%)

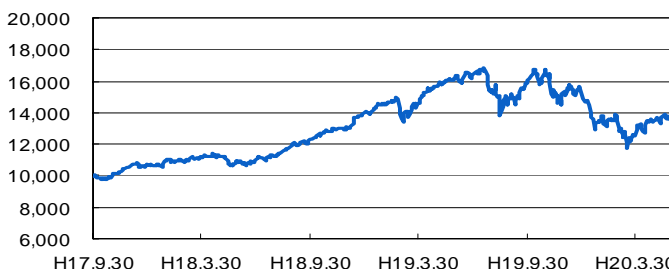
	前月比	
株式	97.3	0.3
先物等	0.0	0.0
現金等	2.7	-0.3
合計	100.0	0.0

## 参考利回り (%)

5.1

参考利回りは過去1年間の配当総額を作成基準日の価格で除して算出したもので、マザーファンドベースの現金等を含む実績配当利回りです。

## 基準価額の推移



基準価額については、ファンド設定日を10000とした指数を使用しております。過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## 組入上位5業種 (%)

1 電気通信サービス	25.8
2 公益事業	17.4
3 銀行	11.6
4 食品・飲料・タバコ	9.3
5 素材	8.1

## 組入上位5通貨 (%)

1 ユーロ	23.4
2 アメリカドル	19.8
3 オーストラリアドル	17.1
4 イギリスポンド	15.2
5 香港ドル	6.3

## 組入上位5ヶ国 (%)

1 アメリカ	18.3
2 オーストラリア	17.1
3 イギリス	15.2
4 ドイツ	6.4
5 フランス	6.0

国内株式:東証33業種、外国株式:MSCI24業種

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数 82)

銘柄名	国名・地域名	業種	比率 (%)	配当利回り (%)
1 ENEL(イタリア電力公社)	イタリア	公益事業	3.0	6.8
2 AT&T	アメリカ	電気通信サービス	2.9	3.8
3 ベライゾン・コミュニケーションズ	アメリカ	電気通信サービス	2.9	4.4
4 イーオン	ドイツ	公益事業	2.9	3.0
5 香港エレクトリック	香港	公益事業	2.8	4.3
6 KPN	オランダ	電気通信サービス	2.8	4.6
7 ユナイテッド・ユーティリティーズ	イギリス	公益事業	2.6	6.1
8 CLPホールディングス	香港	公益事業	2.4	3.5
9 フランス・テレコム	フランス	電気通信サービス	2.3	6.2
10 ボーダフォン・グループ	イギリス	電気通信サービス	2.3	4.3

配当利回りは基準日現在の実績配当利回りを指し、Bloomberg社のデータを使用しています。配当利回りは、あくまで過去の配当実績をもとに算出したものであり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

国内株式:東証33業種、外国株式:MSCI24業種

## ファンドマネージャーコメント(株式)

### <市場概況>

5月の主要各国の株式市場を振り返ると、好悪材料が入り混じりもみ合う展開となりました。原油価格高騰を受けてインフレ懸念が高まった一方で、米国の景気減速懸念が和らいだことや、金融大手の業績や追加損失が市場想定内に収まっていることなどが支援材料となりました。

為替市場に関しては、信用不安の後退から円キャリー取引の動きが見られ、円が主要通貨に対して下落しました。

### <運用経過>

組み入れに関しては、概ね90%以上を維持しました。銘柄選択では、配当利回り水準と増配期待の高い銘柄を厳選し、80銘柄前後の組み入れとしました。月末に保有する日本株は6銘柄です。全体の配当利回りは予想ベースで約5%としました。当ファンドの当月末基準価額は前月末から3.4%上昇しました。

### <運用方針>

6月のグローバルな株式市場は、上値の重い展開を予想します。米国市場は、景気と金融環境の先行きに対する不透明感が強く、上値の重い展開を予想します。欧州市場も、企業業績の下方修正が進行していることに加えて、米国に比べ金融緩和策が取り難い状況にあり、上値の重い状況を予想しています。環太平洋は、オーストラリアの安定的な景気拡大と金融環境が市場の下支えとなる見通しですが、欧米市場の影響を受け、上値を追うのは難しいと予想されます。

為替については、米国の低金利政策や経常赤字問題、各国中央銀行の外貨準備に占める米ドル比率圧縮の動きなどにより、米ドルの上値が重い展開を予想します。

こうした見直しにもとづき、当ファンドの運用については、株式の組み入れを引き続き高水準に保ち、比較的配当利回りが高く、業績見通しが良好で株価が割安な銘柄を中心に分散投資を行います。国と業種の分散を図りながら、全体の配当利回りについては、予想ベースで5%程度を確保します。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド: グローバル・リート・マザーファンド

追加型証券投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

各項目の比率は注記がある場合を除き全てマザーファンドの純資産を100%として計算した値です。各資産にはそれに準ずる投資証券等が含まれることがあります。

## 騰落率 (%)

	基準日	ファンド
1ヶ月	H20.4.30	-1.8
3ヶ月	H20.2.29	2.1
6ヶ月	H19.11.30	-9.1
1年	H19.5.31	-24.9
3年		
設定来	H17.9.30	18.1

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

## 資産構成 (%)

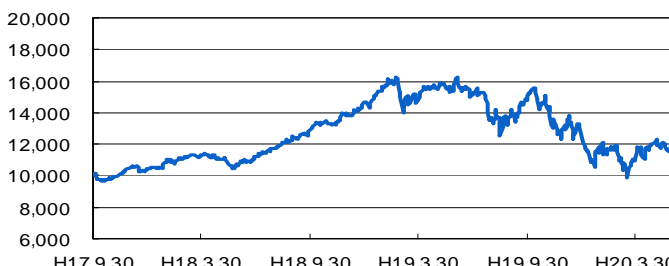
	前月比
リート	98.1 0.0
先物等	0.0 0.0
現金等	1.9 0.0
合計	100.0 0.0

## 参考利回り (%)

6.0

参考利回りは過去1年間の配当総額を作成基準日の価格で除して算出したもので、マザーファンドベースの現金等を含む実績配当利回りです。

## 基準価額の推移



基準価額については、ファンド設定日を10000とした指数を使用しております。過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

## 組入上位5業種 (%)

1 複合	32.1
2 小売り	30.2
3 住宅	11.1
4 産業用施設	9.1
5 ヘルスケア	7.4

業種はGPR社の分類に準拠しています。

## 組入上位5通貨 (%)

1 アメリカドル	41.7
2 オーストラリアドル	27.1
3 イギリス ポンド	8.5
4 カナダドル	8.1
5 ユーロ	8.1

## 組入上位5ヶ国 (%)

1 アメリカ	41.7
2 オーストラリア	27.1
3 英国	8.5
4 カナダ	8.1
5 フランス	4.8

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数 50)

銘柄名	国名・地域名	業種	比率 (%)	配当利回り (%)
1 ウェストフィールド・グループ	オーストラリア	小売り	7.6	6.5
2 ランド・セキュリティーズ・グループ	英国	複合	6.5	4.5
3 エクイティ・レジデンシャル	アメリカ	住宅	4.5	4.6
4 ストックランド	オーストラリア	複合	4.0	7.5
5 ベンタス	アメリカ	ヘルスケア	4.0	4.3
6 リオカン・リート	カナダ	小売り	3.9	6.3
7 キムコ・リアルティ	アメリカ	小売り	3.4	4.1
8 ウニペイル・ロダムコ	フランス	複合	3.4	4.2
9 GPTグループ	オーストラリア	複合	3.1	10.1
10 グッドマン・グループ	オーストラリア	複合	2.8	8.3

配当利回りは基準日現在の実績配当利回りを指し、Bloomberg社のデータを使用しています。配当利回りは、あくまで過去の配当実績をもとに算出したものであり、将来の運用成果をお約束するものではありません。業種はGPR社の分類に準拠しています。

## ファンドマネージャーコメント(リート)

2008年5月の世界のリート市場は米国経済指標、クレジット環境、原油価格に左右される展開でしたが、月を通じては下落となりました。リート市場は月初、米国の良好な経済指標が発表されたことで、大きく上昇しましたが、その後は米国の金融保証会社(モロライン)などを巡る思惑や、金融機関の損失拡大懸念、インフレ懸念などで低迷しました。5月には、多くのリートが1-3月期決算を発表しました。「年度の予想利益成長率の下方修正」や「開発計画の削減」といった保守的なトーンが続いたものの、決算内容自体は予想通り、もしくは予想をやや上回るものが目に付き、相場自体にはそれほどインパクトを与えませんでした。国別には、信用市場でのクレジットスプレッド縮小の傾向や大型商業用物件の取引成立が好感された米国が堅調だった一方、今年に入り2回にわたって引き締めが行われ、金融環境が厳しくなりつつあるオーストラリアや、景気・不動産サイクルが先行していたことで減速の懸念のある英国が軟調な展開でした。

国別配分については、特に変更はありません。個別銘柄については、2銘柄を全部売却し、月末の保有銘柄数は、50となっています。景気減速に伴い出張や旅行需要が減少すると予想して、米国のホテル・リートの「ダイヤモンドロック・ホスピタリティ」を全部売却しました。

グローバル経済見通しは不透明で、リート市場の変動は今後も継続するだろうと予想されます。そしてこのことは特に、アジア太平洋地域においてその傾向は高いだろうと見ています。しかしながら、力強いファンダメンタルズと好ましい供給環境に支えられ、リート市場に魅力的な投資機会があるという我々の見方に変わりはありません。このような環境においては、優秀な経営陣が運営する、借入水準が低く財務内容が健全なリートが強みを発揮するだろうとの考えから、引き続き質の高い銘柄へのポジションの集中を継続します。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド(愛称:ワンプレートランチ)

追加型証券投資信託/ファンド・オブ・ファンズ

## ファンドの特色

- 世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)の3つの異なる資産に分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の安定した成長を目指します。
  - 各資産は、好利回りに着目して運用します。
  - 実際の運用は、3つのマザーファンドの受益証券への投資を通じて行います。
- 債券、株式、リートへの投資割合は、1:1:1を基本とします。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 毎月決算(原則として毎月20日、休業日の場合は翌営業日)を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。
  - 第1期・第2期には分配を行わず、第3期以降、配当等収益を中心に安定した分配を目指します。
  - 売買益(評価益を含みます。)については、原則として、毎年3月、6月、9月および12月の決算時に分配を行うことを目指します。
 資金動向、市場動向等によっては上記のような運用が出来ない場合があります。

## リスクと留意点

当ファンドが有するリスク等(当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドへの投資を通じて間接的に受ける実質的なリスク等を含みます。)のうち主要なものは、以下の通りです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### ・株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行体の企業の事業活動や財務状況の変化もしくは変化に対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、ファンドが投資している企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

### ・債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落(金利が上昇)した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

### ・不動産投資信託(リート)に関するリスク

不動産投資信託(リート)の価格は、不動産市況や景気動向等の影響を受け変動します。また、不動産等にかかる法制度(税制、建築規制、会計制度等)の変更によって、価格が上下したり、配当の額に影響を及ぼすことがあります。リートに組み入れられている個々の不動産等の価値、それらの賃貸料収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等の予測困難な事態により個々の不動産等の毀損・滅失が生じる可能性もあります。これらの影響により、ファンドが組み入れているリートの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ・為替変動リスク

外貨建資産への投資は、邦貨建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ・信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ・市場流動性リスク

大口の解約請求があった場合、解約資金を手当てするために保有資産を大量に売却しなければならないことがあります。その際、市場動向や取引量等の状況によっては、取引が出来なかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ・ファミリーファンド方式にかかる留意点

当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入る有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱にあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド(愛称:ワンプレートランチ)

追加型証券投資信託/ファンド・オブ・ファンズ

お申込みメモ お申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込期間	-	原則として、いつでもお申込できます。
お申込方法	-	「分配金受取コース」と「分配金自動再投資コース」の2つの申込方法があります。販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。また、お申込単位は販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
お申込価額	-	取得申込日の翌営業日の基準価額となります。
お申込手数料	-	お申込金額(上記のお申込価額×お申込口数)に3.15%(税抜き3.0%)を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額となります。
途中換金	-	原則として、いつでもご換金できます。解約金の支払いは、原則として解約請求日から起算して5営業日目以降となります。
ご換金価額	-	解約価額は、解約請求日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額となります。
信託財産留保額	-	解約請求日の翌営業日の基準価額に0.25%の率を乗じた額となります。
信託期間	-	無期限です。(設定日:平成17年9月30日)
決算および収益分配	-	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配を行わない場合もあります。
信託報酬	-	純資産総額に対して年率1.47%(税抜き1.40%)
課税関係	-	収益分配時の普通分配金ならびに解約時・償還時の個別元本超過額について課税されます。詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
信託事務等の諸費用	-	信託財産中から支払われます。詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料等について

投資信託は、ご購入・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

### 申込手数料

原則として、お申込金額(取得申込日の翌営業日の基準価額×お申込口数)に3.15%(税抜き3.0%)を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める申込手数料率を乗じて得た額となります。

詳しくは販売会社にてご確認ください。

### 換金(解約)手数料

当ファンドには換金(解約)手数料はありません。

信託報酬(ファンドより間接的にご負担いただきます。)

当ファンドの純資産総額に年1.47%(税抜き1.40%)の率を乗じて得た額とします。

### 信託財産留保額

1万口につき解約請求日の翌営業日の基準価額に0.25%の率を乗じて得た額とします。

監査費用(ファンドより間接的にご負担いただきます。)

純資産総額に対して.....年0.00525%(税抜き0.005%)

ただし、年630,000円(税抜き600,000円)を上限とします。

監査費用は見直しにより変更となることがあります。

その他の費用(ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。)

・有価証券売買時の売買委託手数料、デリバティブ取引等に要する費用

・資産を外国で保管する場合の費用 等

(「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、その上限額等を事前に記載できません。)

手数料等の合計額は、ご投資家の保有期間に応じて異なる等の理由により具体的に記載できません。

## 委託会社・その他の関係法人

委託会社	三井住友アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号 社団法人投資信託協会会員、社団法人日本証券投資顧問業協会会員 (照会先)フリーダイヤル:0120-88-2976 営業日の9:00~17:00(半休日の場合は9:00~12:00) (インターネットホームページ)http://www.smam-jp.com 信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)および運用報告書の作成等を行います。
受託会社	住友信託銀行株式会社(再信託受託会社 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) 信託財産の保管・管理・計算等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することがあります。
販売会社	当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)の提供、受益者からの一部解約実行請求の受付、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を行います。
投資顧問会社	イービーエヌ・アムロ・アセットマネジメント・グループ(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。) 委託会社との間で締結される投資一任契約(運用委託契約)に基づき、グローバル・リート・マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。

投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。

当ファンドの取得のお申込みの取扱いにあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面等をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。

**このレポートの最終ページにある「重大な注意事項」を必ずご覧下さい。**



# グローバル3資産ファンド(愛称:ワンプレートランチ)

追加型証券投資信託/ファンド・オブ・ファンズ

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会	備考
<b>証券会社</b>						
ジョインベスト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第91号				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第118号				
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第129号				1
日本アジア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第134号				
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号				
三木証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第172号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号				
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号				
<b>銀行</b>						
株式会社 あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号				
株式会社 足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号				
イーバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第609号				
株式会社 愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号				
株式会社 大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号				
株式会社 北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号				
株式会社 紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号				
株式会社 きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号				
株式会社 熊本ファミリー銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号				
株式会社 群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号				
株式会社 札幌銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第2号				
株式会社 四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号				
株式会社 大光銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第61号				
株式会社 第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号				
株式会社 東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号				
株式会社 長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号				
株式会社 南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号				
株式会社 びわこ銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第23号				
株式会社 北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号				
株式会社 北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号				
株式会社 みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号				
株式会社 武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号				
株式会社 山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号				
<b>保険会社</b>						
住友生命保険相互会社	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第34号				
三井住友海上火災保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第141号				2
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号				
<b>信用金庫</b>						
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第52号				

備考欄について

1: 投信スーパーセンター専用 2: 平成20年6月20日よりお取扱い開始

モーニングスターアワード「ファンドオブザイヤー2007」『優秀ファンド賞(国内ハイブリッド型・国際ハイブリッド型部門)』受賞  
 Morningstar Award「Fund of the Year 2007」は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。  
 当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2007年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。上記部門は、2007年12月末において運用期間1年以上のファンド469本の中から選考されました。

## 重大な注意事項

このレポートは、金融商品取引法等法令に則り三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料です。このレポートの内容につきましては当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。尚、投資信託説明書(交付目論見書)と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)が優先致します。このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。コメントは、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。このレポートに基づいてとられた投資行動等の結果につきまして、当社は関知致しませんので、ご自身でご判断頂きますようお願い致します。当ファンドの取得のお申込みの取扱いにあたっては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡し致しますので、必ず内容をご確認下さい。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社までご請求下さい。投資信託は預金ではありません。投資信託は株式等価値のある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますのでリスクを含む商品であり、運用実績は変動致します。従って、元本や利回りが保証されているものではありません。投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の対象とはなりません。投資した資産の価値の減少を含むリスク(価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク等)について、投資信託をご購入のお客様(受益者様)が負うこととなりますので、ご自身でご判断、ご確認頂きますようお願い致します。この資料に記載しているインデックス等の知的所有権その他一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に分配金の実績が示される場合、それらは当ファンドの過去の実績であり、将来の分配の実行をお約束するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあります。

